

会社法判例の読み方

——判例分析の第一歩

飯田秀総＝白井正和＝松中 学

2017年7月発売／414頁／本体3100円＋税
A5判／並製



編集
担当者
から

判例集を読んでみても、そもそも事案が学生には想像しづらくて、イマイチよくわからない。教科書にも判決文の重要な一節が引用されているけど、その内容と事案の解決や条文とのつながりが分かりづらい。そもそもなぜこの判決が重要なんだろう——結局丸暗記するしかなくてツライ……。

そのような疑問や悩みを持つ読者の学習の一助になればとの思いから本書は企画されました。

一口に「判例」といっても、内容は様々で、事案の理解が重要になるものやその後の解釈や立法、実務に強い影響を与えたという意味で重要なものなど、読むべきポイントがそれぞれに異なります。

本書は、事案の詳細な検討、判旨のロジックを追うための行間の言語化、判決がもたらす社会への影響に関する機能的な分析など、それぞれの判例に適したアプローチを用いて、とても充実した解説を付しています。また、「判例の射程」を意識した解説となっており、事例問題を解く際にもきっと役立つでしょう。

本書を読み終わる頃には、判例にはいくつかの「読み方」があることを理解できると思います。本書で学んだ「読み方」とともに、判例分析の第一歩を踏み出しましょう。(F)

Point!

P

詳しい事案の紹介／判旨の引用と充実した解説

